

令和4年12月22日
関東運輸局

《公共交通シンポジウム 2023》

“シームレスな移動”の実現に向けた地域公共交通
を下記のとおり開催します

本シンポジウムは、交通分野におけるデータ連携の高度化に向けた検討会が令和4年6月に公表した取りまとめの解説のほか、データの連携・利活用に関する先進的な取組を紹介しながら、「シームレスな移動」の実現に向けたデータ連携の高度化の意義について考えていきます。

記

【開催概要】

1. 日 時：令和5年1月23日（月）14:00～16:45
2. 場 所：日比谷コンベンションホール（日比谷図書文化館地下1階）
（東京都千代田区日比谷公園 1-4）
3. 参加費：無 料
4. 参加方法：現地・オンライン
5. プログラム：
話 題 提 供：国土交通省 総合政策局 モビリティサービス推進課
課長補佐 粟井 勇貴
事例発表①：群馬県 県土整備部 交通政策課 課 長 松井 紀 氏
事例発表②：京浜急行電鉄株式会社 生活事業創造本部 まちづくり統括部
課 長 佐々木 忠弘 氏
基 調 講 演：モビリティジャーナリスト 楠田 悦子 氏
パネルディスカッション
6. 参加申込：参加又は取材希望の方は、申込フォームで受け付けます。
(<https://forms.gle/JpayUgrBWNkLZWHw6>)
※現地参加は定員に達し次第、締め切りとさせていただきます。

7. 主 催：関東運輸局



【問い合わせ先】

関東運輸局交通政策部 交通企画課 柿本、藤井、西野
tel:045-211-7209 fax:045-201-8807

【同時配布先】

横浜海事記者クラブ、神奈川県政記者クラブ、関東運輸局記者会[ハイク等専門紙]

公共交通シンポジウム2023

“シームレスな移動”の 実現に向けた地域公共交通

(現地+配信のハイブリッド形式 入場無料)

【日時】 令和5年1月23日(月) 14:00～16:45(開場 13:30～)

【場所】 日比谷コンベンションホール(日比谷図書文化館地下1階)



本シンポジウムは交通分野におけるデータ連携の高度化に向けた検討会が令和4年6月に公表した取りまとめの解説のほかデータの連携・利活用に関する先進的な取組を紹介しながら「シームレスな移動」の実現に向けたデータ連携の高度化の意義について考えていきます

プログラム

- 14:10～ 話題提供 国土交通省 総合政策局 モビリティサービス推進課
課長補佐 栗井 勇貴
「交通分野におけるデータ連携の高度化に向けて」
- 14:30～ 事例発表 ①群馬県 県土整備部 交通政策課 課長 松井 紀 氏
「群馬県におけるバス情報オープンデータ整備と今後の展望」
②京浜急行電鉄株式会社 生活事業創造本部まちづくり統括部
課長 佐々木 忠弘 氏
「地域とつくるエリアマネジメントと MaaS」
- 15:10～ 基調講演 モビリティジャーナリスト 楠田 悦子 氏
「データ活用と MaaS の展望」
- 16:00～ パネルディスカッション



主催：国土交通省 関東運輸局

登壇者プロフィール

公共交通シンポジウム 2023
“シームレスな移動”の実現に向けた地域公共交通

基調講演 / コーディネーター

楠田 悦子 氏
モビリティジャーナリスト

心豊かな暮らしと社会のための、移動手段・サービスの高度化・多様化と環境について考える活動を行っている。自動車新聞社モビリティビジネス専門誌『LIGARE』初代編集長を経て、2013年に独立。国土交通省の「自転車の活用推進に向けた有識者会議」、「交通政策審議会交通体系分科会第15回地域公共交通部会」、「MaaS関連データ検討会」、SIP第2期自動運転(システムとサービスの拡張)ピアレビュー委員会などの委員を歴任。共著に最新図解で早わかり MaaS がまるごとわかる本、編著に「移動貧困社会」からの脱却：免許返納問題で生まれる新たなモビリティ・マーケット」(時事通信社)



話題提供 / パネリスト

栗井 勇貴

国土交通省 総合政策局 モビリティサービス推進課 課長補佐

京都市生まれ。2008年、神戸大学法学部法律学科卒業。2011年、神戸大学法科大学院修了・最高裁判所司法研修所入所。2013年、TMI 総合法律事務所入所・愛知県弁護士会登録。2022年4月より現職。主な著書として、「起業の法務」(共著)、ネット掲載記事「スマートシティの法務(総論)」、「スマートシティ×MaaS」等



事例発表 / パネリスト

松井 紀 氏

群馬県 県土整備部 交通政策課 課長

群馬県みどり市生まれ。1989年4月群馬県に入庁、土木技師として、土木事務所や本庁では道路整備課、都市計画課などに勤務、また、2度の市町村派遣を経験。都市計画に係る業務経験が多く、「ぐんま“まちづくり”ビジョン」の策定や群馬県パーソントリップ調査などに携わる。また、伊勢崎土木事務所では、伊勢崎駅付近連続立体交差事業を担当。2020年4月より現職。路線バスへの地域連携ICカード「nolbé」の導入や「群馬県交通まちづくり戦略」の見直しに取り組んでいる。



事例発表 / パネリスト

佐々木 忠弘 氏

京浜急行電鉄(株) 生活事業創造本部まちづくり統括部 課長

横浜市生まれ。1998年京浜急行電鉄株式会社入社。百貨店、駅ナカビジネス、広報マーケティングなどを担当後、2016年から2年間三浦市役所に出向し、観光プロモーション、地域交通の開設など現在に至るまで、三浦半島の地域連携を担当。2022年4月から京急沿線のエリアマネジメント構想「COCOONプロジェクト」を開始し、MaaS構築、地域モビリティ整備、公民連携などを担当している。



【申込み】参加のご希望の方は下記の申し込みフォームよりお申し込みください。現地参加は定員になり次第、締め切りますのでご了承ください。
オンライン参加の場合は視聴用のURLをお送りいたします。
【締切】令和5年1月16日(月)まで
<https://forms.gle/JpayUgrBWNkLZWHw6>



会場：東京都千代田区日比谷公園1-4
地下1階 日比谷コンベンションホール